

# やまゆり

学校だより

令和5年 1月10日  
75号  
学校長 杉本 賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら、自立する生徒の育成」—気づき・考え・実行する—  
校内研究主題 「WEBQUを活用し学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点 「豊かな心の育成」

## 感染症対策をしながら、願いをかなえる3学期にしましょう

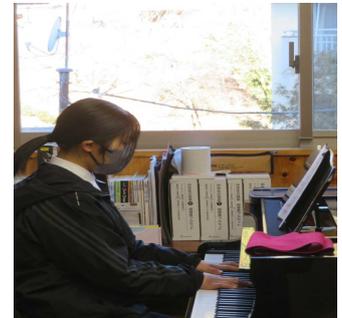
冬休みが終わり、新学期を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。  
冬休みを安全に過ごし再会を喜びながら、一人一人が新たな決意をもち、自分の願いをかなえるために協力し、努力する一年にしたいと思います。  
新年・新学期もよろしくお願いいたします。

本日「始業式」を行いました。3学期もコロナ禍の教育は続きます。山梨県では数日前に初めて2,000人を超える陽性者が発表されました。また3年生は受検を控えています。精神的な安定を図るためにも、コロナ対策としてできる事は徹底し、始業式をICTを活用し生徒・学年職員は各教室で参加しました。

ICT活用の始業式

学年代表の3名

はじめと終わり 教頭先生 校歌伴奏 桜愛さん



1年 佳太さん

2年 千莉さん

3年 柚月さん

新生徒会長 景己さん



- ・リーダーとフォロワー 交流を大切にする
- ・信頼される先輩へ
- ・進路実現の努力 より良い学級づくり
- ・日常生活を大切にする 取り組みへの協力依頼

学校教育重点 「健やかな身体の育成」

## 新型コロナウイルス対策を徹底しましょう！

今年の冬は新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザも流行するようになりました。現在の新型コロナウイルス感染症の陽性者は一日約20万人。一日の死者数は約400人。累計の死者数は6万人を超えました。未曾有の大災害の東日本大震災の死者数は約2万人です。

3学期には受検や卒業式があります。また、道志村は高齢者が多く住む村です。私たちの感染が家族や地域に重大な影響を与えることも考えられます。

感染症対策は、全ての人の努力が大切です。一丸となって取り組みましょう。

- 全国的にも山梨県においても、高齢者が大勢亡くなっています。
- 感染によって「学び」が十分に出来なくなり、精神的にも不安になります。
- マスク・うがい・手洗い・3密回避など、できることを徹底しましょう。
- 体調に変化があったら、必ず学校に報告し、校医さん等に相談したり受診しましょう。
- 陽性になってしまった人への誹謗・中傷は絶対にやめましょう。
- 陽性になった場合、オンラインでの学習を希望する人は学年職員に相談して下さい。

※ 受検への影響を考え、3年生は空間の広い音楽室を中心に学習します。

学校教育目標 社会に貢献しながら、自立する生徒の育成

## 新学期に目標達成のために考えたいこと

### 1 節目を生かして、「目標を持とう」

まず、各自が今年必ず成し遂げたいことや達成したい目標を明確に持ちましょう。

目標達成は、自分の成長や、満足感や達成感を得るためのものです。

### 2 「不安や緊張は、より良い自分へのチャレンジの証」である

ここで大切なのは、「不安や緊張、そして悩み」をどう考えるかです。多くの人は不安や緊張、悩みなどは無い方が良いと考えているのではないのでしょうか。しかし、「不安や緊張、そして悩み」は、達成したい目標を持ったり、今よりレベルの高い生活に向かってチャレンジしたりする時に生まれるものです。逆に言えば、不安や緊張、悩みの無い生活から、目標達成も満足感も得ることは難しいと考えられます。

理想の自分、学習、進路、友人関係、より良い学級や学校、部活動、健康、家庭、高校生活、将来の職業等への「願いや目標」があれば、達成のための「不安や緊張、悩み」は必然なのだと考えましょう。

### 3 「不安や緊張、悩みやストレスを放置」すると目標達成は難しくなる

道志中の生徒の良さは、「真面目で一生懸命、そして我慢強い」ことが挙げられます。しかし、不安や悩みを相談せず、ストレスを発散しない生活を続けると、不安感や孤立感が増し、やる気や主体性も低下してしまいます。

### 4 目標達成のためには、「現状とゴールの差を常にチェック」して修正する

目標達成のためには常に目標を意識し、どうしたら達成できるかを考え続けましょう。

これを「自己調整」と言います。野球の大谷選手やサッカーのメッシ選手が一流であり続けるのは、身体能力の素晴らしさだけでなく「自分で調整」しながら努力を継続している素晴らしさだと思います。朝起きて、誰もが「絶好調」という日は少ないはずです。

しかし、絶好調では無い日でも活躍できるのは、理想のプレーと今日の体調や相手を分析して調整しているからだだと思います。

### 5 「失敗をどう捉えて改善するか」

チャレンジには失敗はつきものであり、失敗があるからこそ「成功」が生まれます。失敗は残念なことではありますが、根底には成功を夢見てチャレンジしているという大きな視点を忘れてはいけません。失敗をゼロにするには、夢や目標は持たないこと。チャレンジはしないことです。大切なことは、失敗や自分の弱さと向き合い、素直に受け止め、その原因を分析して成功につなげることです。野球の大谷選手も、世界中の観客の前で何度も負け投手になっています。

### 6 「粘り強く取り組む」

失敗を繰り返し、目標を達成する。それが大きな目標であればあるほど失敗は続くものです。だから、神様が人間に与えてくれた最大の能力は「あきらめずに努力し続ける」力だと私は思います。人間は全ての生き物の中で一番無能な状態で生まれると思います。馬は生まれてすぐに立ち上がり、歩き始めます。また、鳥も少ない時間で羽ばたきます。しかし、一番無能な状態で生まれた人間は、ことばを使って考え、努力し、チームで支え合って自動車を創り、船を創り、

飛行機で空を飛びます。全て、「あきらめずに、粘り強く努力」し続けた成果です。

## 7 人生で大切にすべきは成功か失敗かではなく、「できると信じて努力し続けた日々にある」

為せば為る。という考え方はとても重要であり、実際にそのような経験も少なからず多くの人も経験していると思います。しかし、就きたい職業に全ての人が就いているわけではありません。私は、それを負け組とは思いません。「願いに向かって精一杯努力した時間と日々がその人にとってどんな意味があるかが重要」なのだと思います。人生でははいけない事は、失敗ではなく「後悔」であると考えます。後悔とは、「やればできることをしなかったときに湧きあがる感情」です。「努力を続け、やれるだけやった実感をもっている人は、後悔はしない」と思います。

## 8 「努力できる自分を好きになる」

人生は思い通りにならないものです。人の目も、結果も自分にはコントロールできません。

また、過去は変えられず、未来のことは分かりません。だから、「今自分にできることをしっかりやる」ことが重要なのではないのでしょうか。私は「準備」とは、言い訳をしないうちに努力することであると思います。また、そういう考え方や行動ができる自分を好きになり、大切にしてほしいと思います。自分を大切にできる人は、他人も大切にできると思います。

## 9 「ベストではなく、ベターな選択をする」

第一目標が達成できなかつたり、自分の計画が思うように実現できない事も現実には多いと思います。できることにベストを尽くすうえで、いつもベストではなく、柔軟にベターな選択をして実行する事も重要です。朝遅刻しないで登校することはベストです。しかし、体調が悪かつたりして遅刻することもあると思います。そのようなときには欠席するのではなく、体調を整え、遅刻して登校することがベターな選択です。真面目で一生懸命、自分が考えたことを一直線に突き進むだけでは、より良く生きることは難しいと思います。

## 10 「就きたくなかった仕事を、生きがいにする力」こそ学校生活で育成したい

家族や社会の職業人に一番目を向けて欲しいことは、「第二希望の職業や、本来は就きたくなかった職業に就いて努力を重ね、この仕事に就けて良かった」と思いながら社会に貢献して働いている方々が大勢いることです。先行き不透明な時代を、若いみなさんが生きていくにはこういう力を学校生活の中で育むことこそ大切なのではないでしょうか。